

名大 化学物質リスクアセスメント手順

1. 使用化学物質の危険性情報の収集

化学物質のラベルおよび SDS から以下の情報を確認する。

(ア) 危険有害性の要約(GHS 分類)

まず GHS に基づく絵表示見て、大まかなハザードを認識する。

GHS 分類の「危険有害性情報」の中から、「眼に対する重篤な損傷・眼刺激性」、「皮膚腐食性・刺激性」等の有無を確認する。(チェックシート項目)

(イ) 適用法令

消防法危険物、労働安全衛生法の有機溶剤／特定化学物質および毒劇物に該当するかどうかを確認する。(チェックシート項目)

(ウ) 化学物質の性質

沸点および引火点を確認する。(チェックシートに記載)

2. リスクアセスメント(RA)の実施(RA チェックシート使用)

(ア) 基礎情報(使用化学物質、実験概要、日付、氏名)を記載する。

(イ) 使用化学物質の沸点および引火点を記載する。

(ウ) チェックシートの「チェック項目」および「判断基準」を確認し、該当区分(チェック欄)にチェックする。

(エ) チェックした行の情報(ハザード等)をすべて確認する。

(オ) (エ)で該当したリスク低減措置を確認する。「その他」欄も必ず読む。

(カ) シート右上の「留意事項」を確認する。

(キ) 以上の情報から「追加の安全対策等」の欄に追加のリスク低減措置などを記載する。

3. 化学物質を用いた実験の実施

必ずチェックシートで該当あるいは記載したリスク低減措置を実施すること。

4. RA チェックシートの取り扱い

RA チェックシートは実験ノートに貼り付けるとともに、コピーを指導教官等に提出する。

5. RA チェックシートの保存

RA チェックシートは 3 年間保存する。